

テーマ等の公募結果

三重県議会では、より県民視点に立った広聴活動を実施するとともに、県民の皆さんに県議会に対する関心を高めていただけるよう、令和元年度 第2回「みえ現場 de 県議会」のテーマ等について、令和元年10月1日から10月18日にかけて公募したところ、4件の応募をいただきました。

この公募結果をふまえ、三重県議会広聴広報会議において協議し、実施内容を決定しました。

公募結果の概要は次のとおりです。

(①～④は、応募いただいた順)

	テーマ
①	インターンシップ（職場体験）を就活の手段に 《テーマ推薦理由等》 若者の離職問題対策として、学生時代の職場体験は非常に重要。インターンシップを実施している学校と受入企業に本音を聞くとよい。
②	三重県出身の学生及び県内在学の学生の県内企業への就職促進による若者人口の増加と活性化 《テーマ推薦理由等》 学生に県内企業の魅力を伝え、就職先の選択肢に加えてもらうことで、若者の県外流出に歯止めがかかり、若者人口の増加や県の活性化につながる。
③	犯罪被害者支援のための（加害者の）再発防止の取組 《テーマ推薦理由等》 刑法犯の検挙人数は減少しているが、逮捕者全体に占める再犯率は増加しており、再犯者の約70%が「無職」であるなど、職の有無は重要である。被害者支援と併せて加害者支援も大切。
④	地域、企業、若者がつながる社会の仕組み作り 《テーマ推薦理由等》 次世代を担う若者が仕事や生活の場を未来の町づくりにどう盛り込んでいくか、次世代に必要とされる地方創生を考えることで、若者の県内定着や次に残る地域づくりにつながる。

応募いただいたテーマのうち、①②④は共通の課題が認められたことから合わせて、「若者の県内定着の促進」をテーマとすることを決定しました。

参加団体についても、応募のあった推薦団体を中心に、協力いただける企業等を加え、決定しました。